

視聴覚教育メディア論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと)

1. 博物館の教育活動や広報活動には、著作権、肖像権、個人情報等に関する知識が必要である。そこで、肖像権について説明しなさい。(20点)

2. 義務教育段階の子どもを対象に、博物館のホームページ(「キッズページ」「こどもページ」等)を設置・運用する意義と問題点について、具体的に述べなさい。(20点)

3. 次の文章の()に最も適する語句を下の選択肢より選びなさい。(各5点)

(1) 博物館資料を静止画として、長期保存用としてデジタル化する時にフルカラーで劣化無しに圧縮することに適したファイルとして()ファイルにすることが一つの方法である。

(2) 撮影の被写体に光を反射させる板を()という。

(3) アメリカの教育者()は、視聴覚教育に関する著作(1946年)で「経験の円錐」を示し、学習活動における直接的経験から言語表象(抽象化)への過程を体系化した。戦後日本の視聴覚教育に大きな影響を与えた。

(4) 主に学校の授業での活用が見込まれる資料を提示するための教具()は、映像や音声の視聴ができるが、単なる大型モニターでなく、双方向的な機能が重視される。さまざまなアプリケーションや、デジタルビデオなどの機器を組み合わせ使用される。タッチパネルや複数の情報端末をとおして、画面の拡大・縮小や書き込みができる機種もある。

(1) TIFF JPEG PNG ブローニフィルム マイクロフィルム

(2) レフ板 ティルトアップ板 モーション板 スミア板
フォーカス板

(3) エドワード・オルセン(Edward G. Olsen) エドガー・デール(Edgar Dale)
ジョン・デューイ(John Dewey) ヘレン・パークースト(Helen Parkhurst)
マリア・モンテッソーリ(Maria Montessori)

- (4) スライド映写機 ナトコ映写機 電子教科書
 電子黒板 OHP

4 . 次の用語の中から 4 つ選択し、その番号を記し説明してください。(各 1 0 点)

(5 つ以上を解答した場合は無効とする。)

- (1) ルーメン (l m) (2) 送信可能化権 (3) シミュレーター
(4) ケーブルテレビ (5) コメニウス (J . A . Comenius)
(6) フィルタリング